

第3回 大豆って いろんな食べ物に変わるからすごい！ 大豆播種体験

月 日：令和6年6月21日（金）

場 所：三重大学附属紀伊・黒潮生命地域フィールドサイエンスセンター 附属施設農場
（三重県津市）

参加者：三重県津市立 大里小学校 3年生 16名

3年生児童16名で大豆の種をまきました。

最初に、三重大学の先生が、畝（うね）の作り方、種のまき方、大豆の育て方の説明や、大豆からなにが出来るのかクイズを出してくれました。その後、バケツに入った大豆の種をもって畑にいきました。



（三重大学の先生のお話）

大豆は、そのままの形で食べることは少ないけど、給食にも良く出るいろんな（みそ、しょうゆ、おから、きなこなど）食べ物に姿を変えて口になっているよ。

種をまく時は、1か所にたくさんまくと栄養を奪い合ってしまう、成長が悪くなるよ。



（子どもたちの声）

10cm間隔で2粒ずつまきます。

- ・ いっぱい種をまけて楽しかった。
- ・ みそやきなこなど、いろんな食べ物になっているから大豆はすごいと思った。
- ・ 大豆からなにが出来るかのクイズが楽しかった。

～先生の感想～

大豆から作られる食品、種のまき方、大豆の育て方の資料を用意してくださったので子どもたちにとって分かりやすかったと思う。クイズ形式で大豆を加工した食品を教えてもらったので、子どもたちが楽しんで学ぶことができた。（3年生担任）

